

TAMRON[®]
産業の眼を創造貢献するタムロン

株主通信

第68期 中間報告書

2014年1月 1日



2014年6月30日

CONTENTS

ごあいさつ	1-2
セグメント別事業の概況	3-4
TAMRON NOW	5-6
トピックス	7-8
連結財務ハイライト	9-10
連結財務諸表	11
会社情報	12
マクロレンズ フォトコンテスト作品募集	13
LESSON	14



代表取締役社長
小野 守男

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社第68期上半期(2014年1月1日～2014年6月30日)の営業概況についてご報告申し上げます。

当上半期における世界経済を概観しますと、米国経済は、生産面を中心に景気は緩やかな拡大基調で推移し、雇用情勢も改善傾向となりました。欧州経済は、昨年末からの持ち直し基調に一服感も感じられますが、概ね底堅く推移いたしました。中国経済は、景気の拡大テンポは減速傾向となっておりますが、世界経済の持ち直し等により底入れ感も出てまいりました。

一方わが国経済は、緩やかな回復基調で推移いたしました。4月以降は消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動による個人消費の落ち込み等も見られました。

当社グループ関連市場であるデジタルカメラ市場では、レンズ一体型カメラの出荷台数は前年同期に比べ約4割減と大幅減少が継続し、レンズ交換式カメラはミラーレスタイプが堅調でしたが一眼レフタイプは依然として厳しい状況で推移したことにより、前年同期に比べ約1割減となりました。レンズ交換式カメラの減少に伴い、交換レンズも同様に前年同期に比べ約1割減となりました。

このような状況の下、当社グループの当上半期における経営成績は、自社ブランド交換レンズ及び監視カメラ用レンズが堅調に推移し、ドル、ユーロの円安基調の継続による為替影響もあったことから、売上高は327億70百万円(前年同期比4.2%増)、営業利益は25億65百万円(前年同期比8.7%増)、経常利益は26億38百万円(前年同期比15.1%増)、四半期純利益は18億20百万円(前年同期比12.7%増)と増収増益を達成いたしました。

■ 通期の見通しについて

下半期の国内外の景気動向につきましては、緩やかな回復基調が継続するものと思われませんが、わが国経

済は、徐々に持ち直しの動きが見られるものの、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動による消費の弱含みが見られることや、海外経済は依然として地政学的リスクがあることや中国その他新興国経済の先行き等、不安材料も懸念されます。

当社グループの上半期業績は、利益面については計画に対して若干上振れてはおりますが、国内外の景気動向には不透明感もあり、2014年2月7日に発表したたしまた通期業績予想を据え置き、売上高710億円(前期比3.7%増)、営業利益58億円(前期比10.8%増)、経常利益56億円(前期比7.8%増)、当期純利益39億円(前期比22.0%増)を見込んでおります。

※下半期の為替レートにつきましては、1米ドル=100円、1ユーロ=135円を前提としており、期初想定レートから変更はありません。

■ 配当金について

中間配当金につきましては、当上半期業績や財務状況等を総合的に勘案し、1株につき20円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、これからも引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

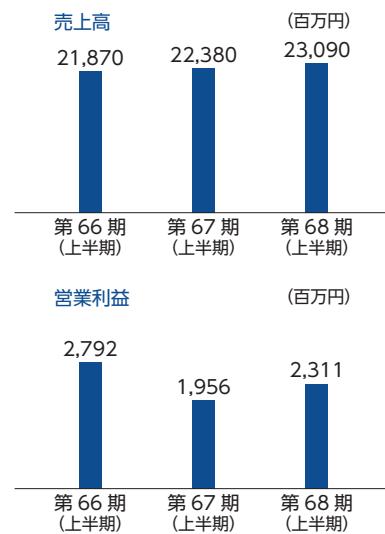
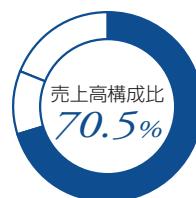
2014年9月



写真関連事業

写真関連事業は、昨年12月に発売した35mm版フルサイズ対応の超望遠ズームレンズ SP150-600mm VC USD(A011)や、4月に発売した世界初のズーム倍率となる約18.8倍を達成した超高倍率ズームレンズ 16-300mm VC PZD(B016)等の画期的な新製品の投入効果等により、自社ブランド交換レンズが好調に推移したことから、前年同期比増収となりました。

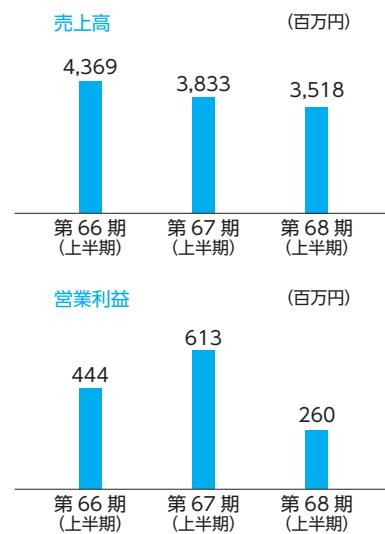
このような結果、写真関連事業の売上高は230億90百万円(前年同期比3.2%増)、営業利益は23億11百万円(前年同期比18.2%増)となりました。



レンズ関連事業

レンズ関連事業は、スマートフォンの普及により、コンパクトデジタルカメラやデジタルビデオカメラが需要を奪われ、市場の大幅縮小が継続した影響等により、前年同期比減収となりました。

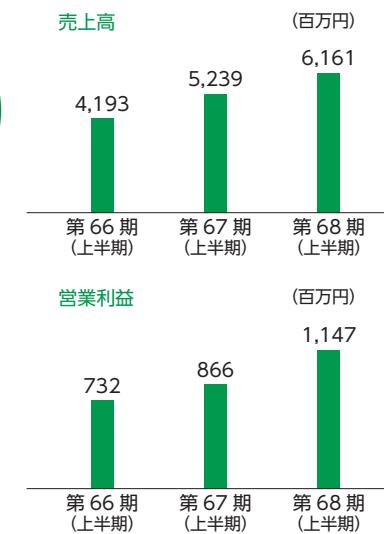
このような結果、レンズ関連事業の売上高は35億18百万円(前年同期比8.2%減)となり、前年同期に比べ開発費の回収が少額となったこともあり、営業利益は2億60百万円(前年同期比57.5%減)と大幅減となりました。



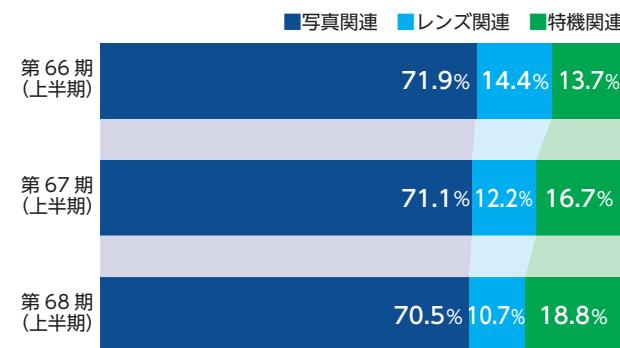
特機関連事業

特機関連事業は、監視カメラ市場の成長に伴い、監視カメラ用レンズの販売が好調に推移したことから、前年同期比増収となりました。監視カメラ市場はビル・店舗等への設置や都市監視・交通監視等、様々な用途で需要が拡大し、同時にアナログカメラからネットワークカメラへの移行も進んでいることから、安定的な成長が継続しており、当社においても付加価値の高い高倍率ズームレンズや高画素対応レンズ等の開発及び販売に注力いたしました。

このような結果、特機関連事業の売上高は61億61百万円(前年同期比17.6%増)、営業利益は11億47百万円(前年同期比32.4%増)となりました。



連結売上高構成比率の推移



	第66期 (上半期)	第67期 (上半期)	第68期 (上半期)
写真関連	71.9%	71.1%	70.5%
レンズ関連	14.4%	12.2%	10.7%
特機関連	13.7%	16.7%	18.8%

TAMRON *Now* 新製品紹介

特集

新製品紹介



『ヨーロッパ DSLRズームレンズ 2014-2015』受賞。

16-300mm F/3.5-6.3 Di II VC PZD MACRO (Model B016)
 広角端、望遠端ともに焦点距離を拡大し、世界初のズーム倍率約18.8倍を達成。



『ヨーロッパDSLR望遠ズームレンズ 2014-2015』受賞。

SP 150-600mm F/5-6.3 Di VC USD (Model A011)
 最新のeBANDコーティングと、異常低分散ガラス(LD)3枚の採用により、高い光学性能を実現。

自社ブランド交換レンズを2013年12月から、5機種発売。
 下半期は、これら新製品の業績への寄与等により、更なる業績拡大を図ります。



フルサイズデジタル一眼レフ対応。さらに進化した高倍率ズーム誕生。

28-300mm F/3.5-6.3 Di VC PZD (Model A010)
 光学設計を一新し、超音波モーター「PZD」、手ブレ補正機構「VC」を搭載。さらなる高画質化と小型化を実現。



ミラーレス一眼カメラ (APS-Cサイズ相当) 専用 18-200mm高倍率ズーム、キヤノン用を発売。

18-200mm F/3.5-6.3 Di III VC (Model B011)
 軽量・コンパクトでスタイリッシュなデザイン、2種類のカラーバリエーションで登場。

タムロン初、マイクロフォーサーズカメラに最適な高倍率ズームを発売。

14-150mm F/3.5-5.8 Di III (Model C001)
 金属外装の本格派高性能ズームレンズ。超コンパクト化を実現。



『EISA アワード』9年連続受賞。2年連続2機種同時受賞の快挙!

16-300mm F/3.5-6.3 Di II VC PZD MACRO (Model B016)



SP 150-600mm F/5-6.3 Di VC USD (Model A011)



16-300mmという超広角から超望遠域を1本のレンズに収めたことは世界初の快挙であり、18.8倍ズームは驚異的である。手ブレ補正機構「VC」がより快適な撮影を可能にしている。また、39cmという最短撮影距離は多くのユーザーに支持されるだろう。レンズの長さ10cm、重さ540gというコンパクトさも特筆すべきことである。手ブレ補正機構「VC」はシャッタースピードが遅い場面で役立ち、超音波モーター「USD」は動きのある被写体も正確に捉えることができる。eBANDコーティングは光の反射を抑えている。自然風景からスポーツまで幅広く活躍できるこのレンズは、素晴らしい画質をコストパフォーマンス良く提供している。

『EISA アワード』賞とは…

欧州の主要20ヶ国、約50の著名な写真・映像・音響・モバイルエレクトロニクス関係専門誌の編集長と技術主幹で構成されるEISA (EUROPEAN IMAGING AND SOUND ASSOCIATION) が、年間最優秀と認める写真、オーディオ、ビデオの分野別製品に対して授ける賞です。なお、当社レンズのEISAアワード受賞は今年度で16回目を数えますが、2006年度より9年連続受賞の快挙を達成。しかも、昨年度に引き続き2機種同時受賞を成し遂げました。

『TIPA AWARDS / BEST EXPERT DSLR LENS』賞 受賞

SP 150-600mm F/5-6.3 Di VC USD (Model A011)



各種マウントに対応したレンズラインナップ拡充

レンズ交換式カメラはカメラメーカーごとにマウント (レンズ装着部の規格) が異なっているため、A社のカメラでB社のレンズが使えないということがあります。さらに、最近では欧米でも伸びているミラーレスタイプ用でも異なっており、当社では、ソニーミラーレス用に加え、2014年はキヤノンミラーレス用、マイクロフォーサーズ用の新製品を発売し、各マウントに対応した製品ラインナップを強化いたしました。レンズメーカーである当社は、各マウントに対応した製品を出していくことで、異なるマウントを利用されている様々なユーザー様に当社レンズを使っていただき、レンズを交換する楽しさを提供しています。



製品

交換レンズ

→詳細はP5-6のTAMRON NOWでご紹介しています。

監視カメラ用レンズ

監視カメラは、ビル・オフィスへの設置や都市監視、交通監視等、様々な用途で需要が拡大しています。さらにアナログカメラからネットワークカメラへの移行に伴い市場全体が拡大しており、当社ではラインナップを強化しています。

2014 展示会・イベント

世界各地で多くの展示会に出展し、タムロンの名を世界に広めています。

1月
January

展示会

「Photofair 2014」出展 (インド)

監視カメラ用レンズ

監視用 近赤外 / 3メガピクセル対応 一体型カメラ用パリアフォーカルレンズ
1/2.7型 3-9mm F/1.3 (Model DF024) 発売



交通監視用 3メガピクセル対応 一体型カメラ用ズームレンズ
1/1.8型 15-50mm F/1.4 (Model DE005) 発売



2月
February

展示会

「CP+(シーピー・プラス) 2014」(日本)出展

監視カメラ用レンズ

5メガピクセル・NIR対応標準パリアフォーカルレンズ
『1/1.8型 4-13mm F/1.5 (Model M118VM413IR / M118VG413IR)』 開発発表



遠赤外線カメラ用レンズ

世界最軽量VGA用ディテクター 17μmピクセルピッチ対応遠赤外線カメラ用光学3倍ズームレンズ
『35-105mm F/1.6 (Model LVZ 3X3516N / LVZ3X3516A)』 発売



3月
March

展示会

「セキュリティショー 2014」(日本)出展

監視カメラ用レンズ

監視用 近赤外 / 5メガピクセル対応 (1.8μmピッチセンサ対応) 一体型カメラ用ズームレンズ
『1/2.7型 2.8~9.8mm F/1.6 (Model DF023)』 発売



4月
April

イベント

第11回 タムロンマクロレンズフォトコンテスト、募集受付開始
→詳細は13ページでご紹介しています。

交換レンズ

『SP 150-600mm F/5-6.3 Di VC USD (Model A011)』が、『BEST EXPERT DSLR LENS』賞 受賞
『16-300mm F/3.5-6.3 Di II VC PZD MACRO (Model B016)』 キヤノン用、ニコン用 同時発売
『SP 150-600mm F/5-6.3 Di VC USD (Model A011)』 ニコン用発売

監視カメラ用レンズ

監視用 近赤外 / 3メガピクセル対応 一体型カメラ用(電動ズーム・フォーカス付き / Pアイリス)パリアフォーカルレンズ
『1/2.7型 3-9mm F/1.3 (Model DF024NA/DF024QA)』 発売



5月
May

展示会

「2014 SPIE Defense, Security, and Sensing」(米国)出展

6月
June

イベント

第7回 タムロン鉄道風景コンテスト 募集受付開始

展示会 「IFSEC 2014」(英国)出展

障害者アスリートを支援

タムロンは、車イス陸上競技の世界的なトップアスリートである土田和歌子選手と洞ノ上浩太選手、義足のランナーである高桑早生選手を支援しています。

1月には、当社ホームページ上に「障害者アスリート応援サイト」を開設し、各選手のプロフィールや最近の活躍の他、各選手のフォトギャラリーや競技に賭ける「熱き想い」と「夢」を語っていただいたインタビューも掲載しています。

タムロンは今後もハンディキャップを抱えながら世界を目指し、夢の実現のために日々努力して、人々に「勇気と感動」を与えている選手の活動を支援していきます。



多様性の実現を推進

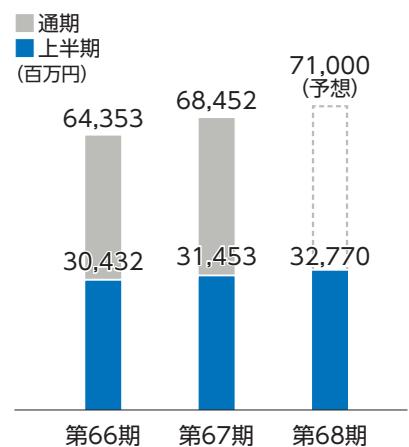
タムロンでは様々な国・地域で意欲ある人々に、個性を活かし能力を発揮して活躍できる機会が与えられるよう、多様性の取り組みを推進しています。

当社が本社を置く埼玉県では、女性の力で埼玉経済を元気にする「埼玉県版ウーマノミクスプロジェクト」を進めています。その一環として、「多様な働き方実践企業」を認定しており、当社は様々な基準を満たし、「ゴールド」企業に認定されました。

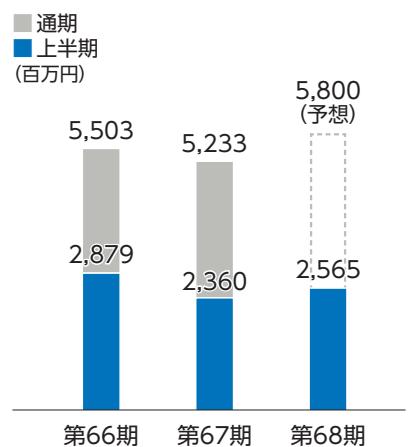
当社は、2015年には本社敷地内に企業内保育所を設立予定など、今後も男女問わずいきいきと働き続けられる環境をつくり、仕事と子育て等の両立を支援していきます。



●売上高 上半期 **4.2% UP**

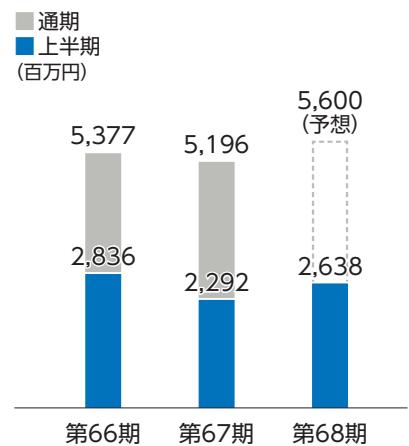


●営業利益 上半期 **8.7% UP**

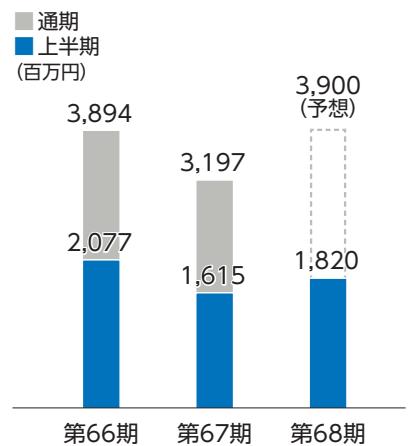


←Point
売上高・営業利益
上半期は円安によるプラス影響もあり増収増益。売上高・利益ともに計画達成。通期でも増収を見込み、営業利益は2ケタ増益を見込む。

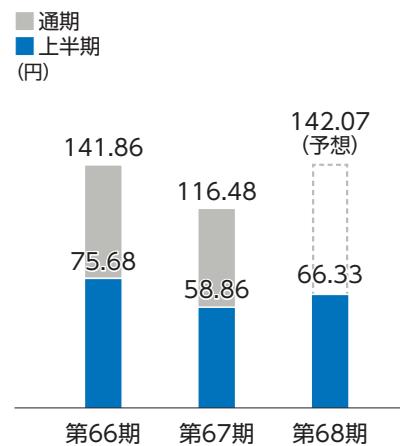
●経常利益 上半期 **15.1% UP**



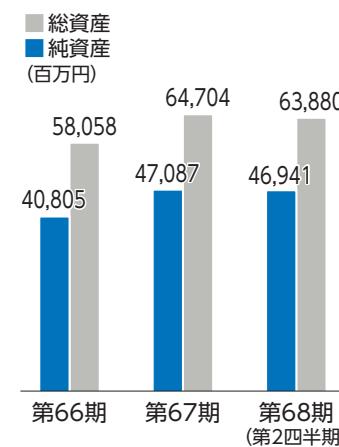
●当期(四半期)純利益 上半期 **12.7% UP**



●1株当たり当期(四半期)純利益



●総資産／純資産



←Point

総資産

●流動資産 たな卸資産が13億30百万円減少した一方、現金及び預金が26億50百万円増加したこと等により、流動資産は前期末に比べ5億9百万円増加し、422億67百万円となりました。

●固定資産 有形固定資産のうち建物及び構築物が3億9百万円、機械装置及び運搬具が5億70百万円減少したこと等により、固定資産は前期末に比べ13億32百万円減少し、216億13百万円となりました。

負債

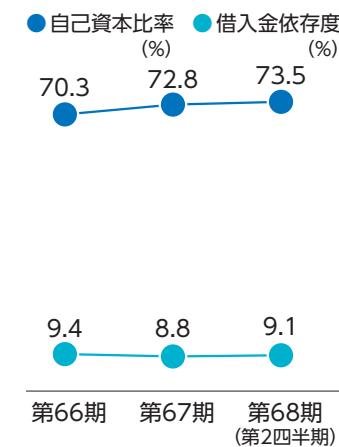
●流動負債 買掛金が5億68百万円減少したこと等により、流動負債は前期末に比べ8億91百万円減少し、132億52百万円となりました。

●固定負債 長期借入金が1億72百万円増加したこと等により、固定負債は前期末に比べ2億14百万円増加し、36億86百万円となりました。

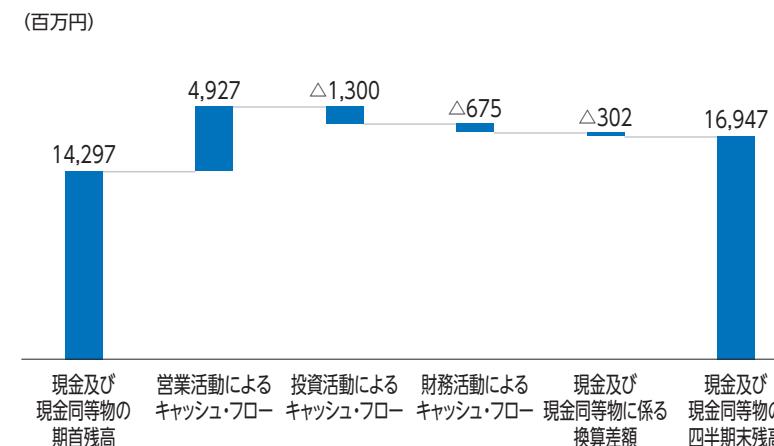
純資産

利益剰余金が9億97百万円増加した一方、為替換算調整勘定の残高が21億63百万円となったこと等により、純資産は前期末に比べ1億46百万円減少し、469億41百万円となりました。

●自己資本比率／借入金依存度



●キャッシュ・フロー (第68期第2四半期)



←Point

営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益が26億38百万円、減価償却費が18億12百万円、たな卸資産の減少額が10億2百万円となったこと等により、営業活動によるキャッシュ・フローは49億27百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出が11億55百万円となったこと等により、投資活動によるキャッシュ・フローは13億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入れによる収入が10億円あった一方、長期借入金の返済が7億47百万円、配当金の支払額が8億23百万円あったことにより、財務活動によるキャッシュ・フローは6億75百万円の支出となりました。

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 (2014年6月30日現在)	前期 (2013年12月31日現在)
資産の部		
流動資産	42,267	41,758
固定資産	21,613	22,945
資産合計	63,880	64,704
負債の部		
流動負債	13,252	14,144
固定負債	3,686	3,471
負債合計	16,939	17,616
純資産の部		
株主資本	44,406	43,409
その他の包括利益累計額	2,534	3,678
純資産合計	46,941	47,087
負債純資産合計	63,880	64,704

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

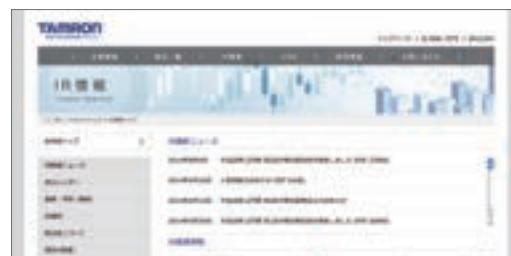
科目	当第2四半期 (2014年1月1日から 2014年6月30日まで)	前第2四半期 (2013年1月1日から 2013年6月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,927	4,160
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,300	△3,514
財務活動によるキャッシュ・フロー	△675	1,081
現金及び現金同等物に係る換算差額	△302	755
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,650	2,482
現金及び現金同等物の期首残高	14,297	10,822
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,947	13,305

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 (2014年1月1日から 2014年6月30日まで)	前第2四半期 (2013年1月1日から 2013年6月30日まで)
売上高	32,770	31,453
売上原価	22,444	21,592
売上総利益	10,326	9,860
販売費及び一般管理費	7,761	7,500
営業利益	2,565	2,360
営業外収益	194	93
営業外費用	120	161
経常利益	2,638	2,292
税金等調整前四半期純利益	2,638	2,292
法人税等	817	676
少数株主損益調整前四半期純利益	1,820	1,615
四半期純利益	1,820	1,615

詳しくは当社IRサイトをご覧ください。



タムロン IR 検索

会社概要

2014年6月30日現在

商号	株式会社タムロン
創業	1950年11月1日
設立	1952年10月27日
本社	埼玉県さいたま市見沼区蓮沼1385番地
資本金	69億23百万円
従業員数	2,574名(連結)

役員

2014年6月30日現在

代表取締役社長	小野 守男
取締役副社長	白井 義博
取締役副社長	長島 久明
専務取締役	新井 宏明
専務取締役	志村 忠寛
専務取締役	鯉坂 司郎
常務取締役	大瀬 英世
常務取締役	濱田 憲一
取締役	市川 敬
取締役	阿保 正行
取締役	桜庭 省吾
取締役	川鍋 宏
取締役	清水 秀雄*
取締役	横瀬 三亀夫*
常勤監査役	益子 幸雄*
常勤監査役	安田 信一
監査役	利根 忠博*
監査役	西本 恭彦*

注1. *印の取締役は社外取締役、監査役は社外監査役であります。
 2. 当社は、取締役 清水 秀雄、取締役 横瀬 三亀夫及び監査役 益子 幸雄を東京証券取引所の定める独立役員として、同取引所に対し届け出ています。

株式の状況

2014年6月30日現在

発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式の総数	27,500,000株
単元株式数	100株
株主数	5,048名 ※単元未満除く

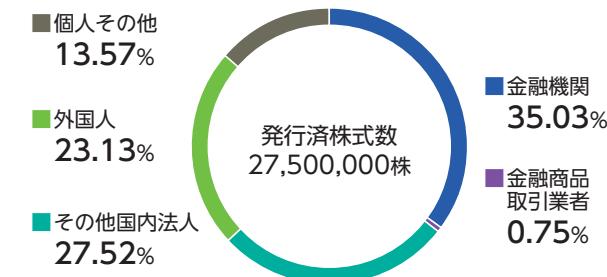
大株主

株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
株式会社ニューウェル	4,898	17.81
ソニー株式会社	3,129	11.38
株式会社宏友興産	1,529	5.56
JP MORGAN CHASE BANK 385174	1,221	4.44
株式会社埼玉りそな銀行	1,122	4.08
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,109	4.03
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	801	2.91
BNP PARIBAS SEC SERVICES LUXEMBOURG/ JASDEC/ ABERDEEN GLOBAL CLIENT ASSETS	691	2.51
日本生命保険相互会社	580	2.10
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/ JASDEC/ BP25 DUBLIN-US PENSION FUND	400	1.45

注. ソニー株式会社の持株数3,129千株は、みずほ信託銀行株式会社へ委託した信託財産であります。信託約款上、議決権の行使並びに処分権については、ソニー株式会社が指図権を留保しております。

株式所有者別分布

※単元未満除く



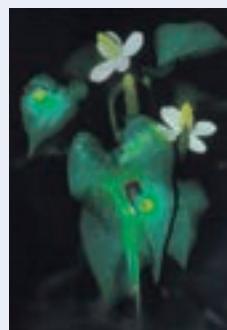
タムロンマクロレンズ フォトコンテスト作品募集

株主の皆様もぜひご応募ください!

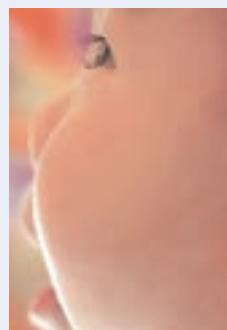
- 募集期間 2014年5月1日(木)~10月31日(金)
- 締め切り データ応募 : 23時59分59秒まで
プリント応募 : 当日消印有効



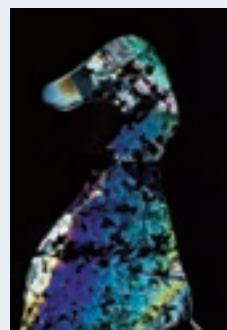
第9回グランプリ受賞作品



第5回グランプリ受賞作品



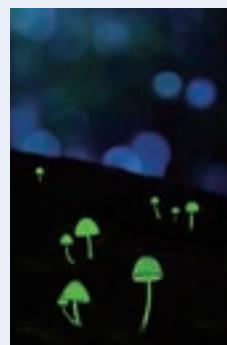
第3回グランプリ受賞作品



第1回グランプリ受賞作品



第6回グランプリ受賞作品



第10回グランプリ受賞作品



第2回グランプリ受賞作品



第4回グランプリ受賞作品

コンテスト概要

ネイチャーの部 植物や昆虫、小動物などの ネイチャー写真を対象とします。		ノンジャンルの部 人物・アクセサリー・料理など、 ネイチャー写真に限らず広く募集します。	
審査員	写真家 江口 慎一氏	審査員	写真家 川合 麻紀氏
グランプリ(全応募作品の中から1名)		300,000円	
金賞(2名)	100,000円	金賞(2名)	100,000円
銀賞(2名)	50,000円	銀賞(2名)	50,000円
銅賞(4名)	10,000円	銅賞(4名)	10,000円
入選(5名)	5,000円	入選(5名)	5,000円
タムロン賞(1名)*	50,000円	タムロン賞(1名)*	50,000円
受賞者 29名		賞金合計 1,130,000円	

*タムロン賞・・・タムロンマクロレンズで撮影された作品から選出されます。

第8回グランプリ受賞作品



第7回グランプリ受賞作品

詳しくは当社ホームページ上にも掲載しております。▶▶▶ http://www.tamron.co.jp/special/macrocon2014/index_outline.html

Lesson

光の反射と反射防止膜

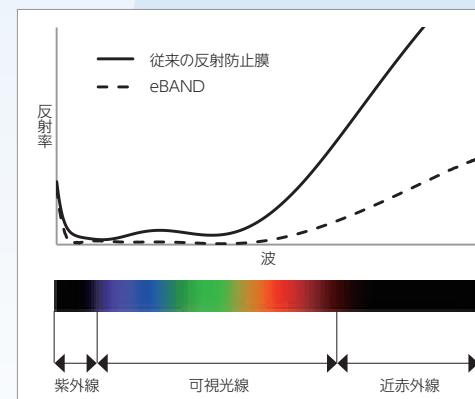
光の反射について

通常、ガラスは入射した光を約8~20%も反射します。交換レンズのように5枚~20枚もガラスレンズを組み合わせると、光の透過率は1/3以下まで下がります。また、レンズ表面で反射した光は迷光となりゴーストやフレアの原因となります。そこで、レンズ表面には反射率を下げる反射防止膜を形成します。この反射防止膜は真空蒸着装置によりナノレベル(1nmは1/1,000,000mm)の厚みで制御しています。

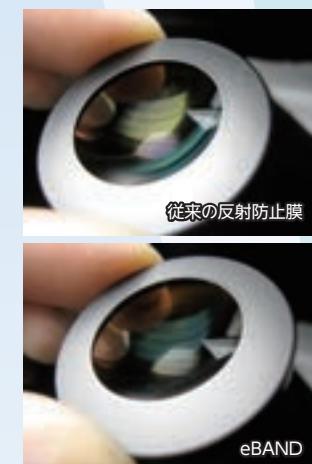
タムロンが独自開発した反射防止膜「eBAND」

タムロンが独自開発した反射防止膜が、eBANDコーティング(Extended Bandwidth & Angular- Dependency Coatingの略)です。名称の通り、「eBAND」は従来の反射防止膜より広い波長帯域での反射防止機能と斜めからの入射光に対する高い反射防止機能が特徴です。特に従来の反射防止膜は斜めから入る光に極端に弱い欠点がありましたが「eBAND」はこれを大幅に改善しました。

●反射率比較(イメージ図)



●蛍光灯の映り込み比較



●ゴースト発生比較



開発秘話

従来の反射防止膜の製法と全く異なる「成膜法」で「eBAND」は製造されていますが、予想を超えた外観不良との戦いがありました。その外観不良は多種多様で、良品を安定して作るにはこれらを対策する必要がありました。毎日「一日一改善」を続け、長い月日をかけて、ようやく不良を抑えることができました。

その結果、自動成膜を可能にした自社製の成膜装置「ASC」にて「eBAND」の量産加工が始まり、その後、多数の工程改善を盛り込んだ成膜装置「RASC」が完成し、安定した生産が続けられています。

株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会 毎年3月
基準日 定時株主総会 毎年12月31日
期末配当 毎年12月31日
中間配当 毎年6月30日

単元株式数 100株
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
(電話照会先) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
※ 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で
行っております。

公告方法 電子公告 ※ただし、電子公告による公告ができない場合は、日本
経済新聞に掲載して行います。
当社ホームページ <http://www.tamron.co.jp>

お知らせ

● 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の
口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

● 未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

● 上場株式等の配当等に係る10%(所得税7%、住民税3%)軽減税率の廃止について

2014年1月1日から上場株式等の配当等に係る10%軽減税率(所得税7%、住民税3%)は廃
止され、本来の税率である20%(所得税15%、住民税5%)となりました。

また、2013年1月1日から2037年12月31日までの間(25年間)は、所得税額に対して
2.1%が「復興特別所得税」として課税されています。そのため、株式等の配当等もその
源泉所得税を徴収する際に「復興特別所得税」が併せて徴収されています。

上場株式等の配当等に係る源泉徴収税率について

配当等の 支払開始日	2014年1月1日～2037年12月31日	2038年1月1日～
上場株式等の 配当等の税率	20.315% [内訳] 所得税(15%) + ※復興特別所得税(0.315%) 住民税(5%)	20% [内訳] 所得税(15%) 住民税(5%)

※15%×復興特別所得税率2.1%=0.315%
(2014年1月時点の情報をもとにしています。)

ホームページのご紹介

当社ホームページでは、事業内容をはじめ、
商品のご紹介からIR情報に至るまでの様々な
情報を掲載しています。ぜひご活用ください。

主な掲載コンテンツ

- 企業情報
- 製品一覧
- IR情報
- CSR
- 採用情報
- お問い合わせ

タムロン トップページ

URL <http://www.tamron.co.jp>



タムロン フォトサイト

URL http://www.tamron.co.jp/index_p.html



株式会社タムロン

〒337-8556 埼玉県さいたま市見沼区蓮沼1385番地
TEL 048-684-9111(代) FAX 048-683-8289 <http://www.tamron.co.jp>

■ IR情報関連に関するお問い合わせ：経営企画室

TEL 048-684-9114(午前9:00～午後5:20) FAX 048-683-8282 e-mail: kabushiki@tamron.co.jp

UD FONT
by MORISAWA

見やすいユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



本冊子は環境保全のため、
植物油インキで印刷しています。